

ラップトップ・スクールの現状と課題

岐阜県立華陽フロンティア高等学校 通信制課程教諭 林 芳博
 c27350@gifu-net.ed.jp
 http://school.gifu-net.ed.jp/kayofront-hs/
 キーワード ラップトップ・スクール

1. 本校通信制課程の概要

1. 1 学習の進め方

通信制課程の学習に於いては、自学自習を原則とする。

年間に決められたスケジュールに沿ってのレポートの作成・提出が学習の中心である。また、レポートのスケジュールに合わせて、年間25日程度のスクーリング日が設定されており、登校し面接指導を受ける。

1年間に3回の試験期間があり、「レポートの作成」・「スクーリングの出席」・「テストの合格」によって単位を修得することができ、修得単位数によって所属年次が決まり、卒業へと進んでいく。

1. 2 問題点

年間の登校日数が限られているため、在宅学習において孤独感に陥りやすい点や、レポートの添削・返送に往復一週間以上の日数を要し、様々な疑問・質問を即時に解決・理解できにくい点も学習の継続にとって問題があると思われる。

2. ラップトップ・スクール構想

「自学自習の難しさ」「仲間意識の育ちにくさ」「通信手段の乏しさ」等の課題に対し、ITを積極的に導入・活用して、ネット上に学校の持つ機能を実現することにより、課題解決を試みた。

平成14年度から、ラップトップ・スクール構想(右図)に取り組み、昨年度、ラップトップ・スクールの運用が始まり、ほぼ一年が経過した。今年度、現状を見直し、今後、日常の教育活動の中にどう位置付けていくかを検討する時期に来ている。



3. 現状

3. 1 学習の充実

ホームページ上に学習情報のページ「教科の部屋」を開設し、レポート作成上のヒントを始め、自習用の学習コンテンツ、関連する内容についてのリンク集等を載せている。

問題記号	内容	ヒント
(A)	買い物をする時の表現	☆それぞれ、教科書本文を参考に埋めていこう。どの表現も重要なので、何も見ずに言えるようにしておくこと。
(B)	買い物をするときの表現	☆(b)のsmallは、「(サイズ)sです」という意味であり、(b)の問いに対する答えになります。
(C)	値段を尋ねる表現	☆単数のものの値段を聞く時は、「How much is this ○○?」となりますが、複数のものの値段を聞く時は、「How much are these ○○?」となりますので注意。glasses(眼鏡)、jeans(ジーンズ)、shoes(靴)などは全て複数扱いです。
(D)	単位の表し方	☆単位+もので、単位をつけたもの言い方ができる。それぞれの単位の名称を調べよう。テスト前復習プリントにもまとめてあります。
(E)	内容に関する質問	☆文章で答える場合、答え方に注意。 ②X3は過去形なので、It'sではなくit wasを使う。 ③は値引きされた額を答えるので、176-170で求める。

科目	HP	HPアドレス	内容
気象庁		http://www.jma.go.jp/JMA/HP/jma/index.html	今日の天気、今後の予報だけでなく、異常気象、今年のエルニーニョ現象などのお知らせ。環境問題の学習におすす
地理	国土地理院	http://www.gii.go.jp/	全国各地の2万5千分の一の地図がみられます。また、出版のずれの状況も出て
	TBS世界遺産	http://www.tbs.co.jp/heritage/	日曜日の夜行特急の分からは数秒中の「世界遺産」放送だけでなく自然についてもお知らせできます。人類の残した足跡に見つ

3. 2 生徒との対話

グループウェアのウェブメール機能を活用して、生徒職員全てにメールアドレスを与え、職員のアドレスについてはホームページ上に公開し生徒からの質問・問い合わせなどを受け付けている。さらに、各教師が各自のページを作成し、クラスや部活の生徒への、連絡や呼びかけ等をおこなっている。



The screenshot shows a web browser displaying a school website. The page title is '新編フロンティア高校ホームページ'. Below the header, there is a table listing staff members. The table has columns for '部署' (Department), '氏名' (Name), '性別' (Gender), and 'Eメール' (Email). The email addresses are all in the format 'name@frontier.ac.jp'.

部署	氏名	性別	Eメール
校長	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
副校長	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
教頭	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
教務主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
生活指導主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
保健体育主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
図書主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
情報主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
英語主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
音楽主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
美術主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
体育主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
家庭科主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
英語科主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
音楽科主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
美術科主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
体育科主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
家庭科主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
英語科主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
音楽科主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
美術科主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
体育科主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp
家庭科主任	佐藤 隆	男	tsunehisa@frontier.ac.jp

4. 成果

- ・運用後2年目に入り、職員のホームページを作成する技術が向上して来ており、内容的に充実してきた。
- ・時間に制約のあるスクーリングにおいては、一般的な内容の説明に終始しがちである。中には、細部にまで関心をもつ生徒が、メールで質問してくることもあり、個に応じた指導の手段の一つになっている。
- ・本校に対人関係を苦手とする生徒も多く、本校勤務のスクールカウンセラーの所へ相談に来ている生徒の中には、スクーリング以外の日にも、カウンセラーや担任の所へ頻りにメールをしってくる生徒がいる。
- ・「夏休み中はどんなことを勉強したら良いか?」とか、「テストが近いので・・・」といった内容のメールから、生徒が家庭で作成した文化祭のクラス作品や、発表原稿をメールに添付して担任に送信してくる等の事例もある。

5. 課題

5. 1 仲間作り

ホームページにゲストブックという形で掲示板が設置されている。これまでは、ある程度の自浄作用が見られたが、内容の信頼性に乏しい発言も見受けられた。他方、管理を厳格に行うと、発言内容がすさんだものになる等管理が難しい。長崎の事件等のことを考えると、現在のところ積極的な活用には慎重にならざるを得ない。

5. 2 身近な学校

携帯が生徒にとって身近であり、時間割をホームページに載せても、電話での問い合わせがあり、学校でウェブメールを用意しても、携帯のメールが主である。実際全てをラップトップ・スクールで提供するわけではないが、どんな情報を提供すべきか、生徒の利用状況や、内容についての要望などを把握する必要がある。

6. 今後に向けて

- ・現状では「学習支援」がラップトップ・スクールの柱となっている。スクーリングとの関連を考慮し、時宜に合った内容の発信を心掛ける等の確かな更新をし、自信をもって生徒にアピールできるよう、内容の充実を目指す。
- ・「生徒との対話」に関しては、生徒とのコミュニケーションにメールをうまく利用している事例がある。まだ個人的な活用にとどまっているので、実践交流など校内での研修を充実させ、それぞれの事例を、教員全体で共有していく体制作りをする。
- ・この9月より時間割をパソコンだけでなく携帯からも見られるようにした。携帯電話用ホームページよりホームページの方がより表現力の高い情報が発信できるが、生徒にとっては携帯がより身近であり、ホームページに固執せず、緊急連絡用等、内容によってはさらに携帯用ホームページの利用も進める。
- ・ラップトップ・スクールが、教員の日常の教育活動の一環となるよう、グループウェアの機能・活用を研究する。
- ・「総合的な学習の時間」や教科「情報」と連携して、広く情報教育を進める。